

東京外国語大学 環境経営論アンケート

開講日：平成18年8月1日PM

講師：小野木正人

1. 今日の講義の感想は？（複数選択可能）

- ① 楽しかった・・・・・・・・・・8人
- ② 面白かった・・・・・・・・・・6人
- ③ 勉強になった・・・・・・・・・・12人
- ④ わかりやすかった・・・・・・・・・・5人
- ⑤ もっと聴きたかった・・・・・・・・・・2人
- ⑥ 難しかった・・・・・・・・・・8人
- ⑦ 実践してみようと思った・・・・・・・・・・1人
- ⑧ 思っていたイメージと違った・・・3人
 - もっと堅苦しいものだと思っていた。
 - 実際のデータをもとに実地調査をすると思っていたが、机上のデータ利用だったので残念だった。
 - もっと経営学的な講義だと思っていた。
- ⑨ わかりにくかった・・・・・・・・・・1人
- ⑩ 友達にも薦めたい・・・・・・・・・・1人
- ⑪ その他・・・・・・・・・・1人

2. 今回の講義内容で、何が一番印象的でしたか？

- 環境問題に厳しいドイツなどで、ISO14001 があまり取得されていないこと。
- ISO を取得するには、お金と労力がとてもかかるということ。
- ISO を取得する背景には、「環境」のため、という理由もあると思うが、ビジネス的な面も大きくあるのではないかと思った。
- ISO14001 の認定基準が世界各国で統一されていないことに疑問を感じた。
- ISO が国際基準といっても、どこかの国がモデルとなっているので、世界的に広まるのは難しいと思った。
- 環境側面を挙げていったらきりが無い。
- 環境影響評価リストの作成(9)
 - すごく地道なもので、大変な作業だった。
 - 意外と思いつかなかった。
- 環境影響評価を様々な点から考え、調査することが必要だということ。
- ワークシートが漠然としていてやりづらかった。

3. あなたにとって、得るもの、気づきなどはありましたか？

- 起こりうる環境リスクを想定することができた。(3)
- 一つの施設から起こりうる多数の汚染についてはじめて考えた。
- インアウト、設備一覧表から見ると、色々な問題が浮き出てくる。
- ISO を取得するためには、様々な側面を検討することが必要。
- 日本は ISO14001 の認証取得では断トツ世界 1 位であるが、環境先進国とは決して言いがたい。環境対策に消極的な企業が ISO14001 を取得するとは皮肉なことだ。
- ISO を取得するにあたり、業者に依頼するため、内部の人間の環境意識が低い場合があると聞いたことがあるが、確かに納得する部分がある。組織全体の意識を変えることが大切だと感じた。

- ISOについて自分でも説明できるようになった。
- ISO取得の手順が理解できた。
- 今まで気づかなかった東京外大の環境面に気づいてきた。

4. 上記以外で、受講した感想を自由に書いてください。

- ワークを行うことで、ISOの仕組みを体得でき、より深く理解することができた。(2)
- グループワークを通して活発な議論ができ、とても良かったが、少しばかり内容が高度だった。
- ISOについてもう少し、理論的・実務的側面から学べたらもっと理解が深まったのではないかと思う。
- 「ごみ処理業者はごみが減ると仕事なくなる」と聞くが、やはりごみの量を減らすべきだし、減らしてもごみはでると思う。また、減らしたことで失業者が増えることもないと思う。
- 公害を取り締まっている自治体はどこか？その成果は上がっているのか？
- ノウハウを教えるのも、身に付けるのも大変だと思った。
- もとになるデータなどがあれば、もっと面白いと思う。
- 課題に力を入れすぎて、授業の前半部の記憶があまりない。